

東京工芸大学 工学部

東京工芸大学は、大学に夢を持って入学してくる人を全力で応援する「全力サポート大学」。「入学してよかった!」という声が多く聞こえるような、学生にとって満足度の高い大学を目指し、教職員は日々取り組んでいる。

一般選抜のⅠ・Ⅱ期はマークシート解答式

Ⅲ期は記述式

一般選抜のⅠ期は数学、理科(物理または化学)、英語、国語の4教科のうち上位3教科で選考し、さらに成績上位者から特待生(工学部第1種)を選考する。Ⅱ期は数学、理科(物理または化学)、英語の3教科のうち上位2教科で選考。また、Ⅲ期は理科(物理または化学)で選考する理科型、数学で選考する数学科、数学・理科の2教科判定の数学+理科型の3パターンで実施。また、工学部と芸術学部の併願が可能な「全学統一選抜」では数学、理科(物理または化学)、英語、国語の4教科のうち上位2教科で選考し、成績上位者から特待生(全学統一選抜特待生)を選考する。

大学入学共通テストの成績のみを使用する共通テスト利用選抜も、Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期の3回に分けて実施する。Ⅰ期は2教科以上3科目(300点)で選考し、成績上位者から特待生(工学部第2種)を選考。Ⅱ期・Ⅲ期は2教科(200点)で選考する。いずれも教科・科目に指定があるため、要確認。

総合型選抜は課題と面接を

重視した選抜を実施

総合型選抜のⅠ期は10月に実施。まず学生募集要項や課題説明動画を確認の上、希望するコースの課題を作成し、事前審査へのエントリーが必要。選考は事前審査の段階では志望理由書、課題・活動報告書(野球部チャレン

ジ)、面接を行う。審査通過後に出願可能となり、選抜試験では書類選考(学習調査報告書)を行う。Ⅱ期は12月実施。Ⅱ期以降は事前審査を行わず、出願期間に志望理由書、課題、学習調査報告書を提出し試験日当日に面接を実施する。なお、課題内容はⅠ期と同様となっている。

3月に実施するⅢ期では、学びたいコースへの意欲、専門分野への適性を志望理由書、課題(自己アピール)、学習調査報告書、面接で確認する。

学校推薦型選抜は公募制に

新方式追加

学校推薦型選抜のうち公募制については、11月に実施。選考方法として推薦書・調査書・面接のほか、試験日当日に基礎学力調査として数学(数学Ⅰ・数学A)を実施する「数学科」に加え、小論文で受験できる「小論文型」を追加し選択が可能となる。志望するコースでの指定する資格の取得等が証明される場合、「調査書」および「推薦書」の加点対象とする。指定校制については、従来どおり面接、特別推薦書、調査書にて選考を行い、試験日にはグループ面接を実施する。認定基準等については、該当する高等学校に2022年6月初旬に通知する予定。

※上記選抜方式について、今後変更があった場合や内容の詳細については、決まり次第、大学ホームページ等で発表する予定。

INFORMATION

イベント情報 (厚木キャンパス)

[オープンキャンパス]

7/17 8/20
SUN SAT

2023 3/26
SUN

[キャンパス見学・入試相談会]

8/2
TUE

[進学相談会 with 学園祭]

10/29
SAT



工学部入試課 課長
北村 勝彦

期待する受験生像

工学部での学修は、数学や物理など高校で学んだ教科や科目をベースとしていますが、現時点での得意・不得意や苦手意識にしばられることなく、入試までに何が必要なのか、入学後何に注力すべきかを意識して勉強に励んでください。また、工学系に進学したいけれど、まだやりたいことに迷っている人も安心してください。東京工芸大学工学部には、2年次進級時にコースを変更できる制度(2021年度希望変更実績100%)があります。みなさんの「学びたい!」「成長したい!」という熱意に全力で応えます。